

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル大和田（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者のニーズ、課題等を管理者、児童発達支援管理責任者をはじめとするスタッフ全員で共有したうえで個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法などを職員間で検討、共有をしたうえで支援を行っている。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等を見逃さない体制づくりを行っている。
2	療育スペースの整理整頓に努め、子どもにとって安全な環境を提供している。	生活空間の整理整頓や清掃に努め、心地よく過ごせる環境作りを行っている。また、児童の活動に適した配置等を行っている。	ヒヤリハット報告などを活用し、環境整備についてより安心安全に配慮した配置や、危険個所の発見に努めていく。
3	日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時の引き渡しの際や、連絡帳を通して児童の状況等を保護者へ伝達している。	保護者との関係をより強化し、保護者の悩みやニーズなどを確認していき、児童の支援へと繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	意図的に地域や他のこどもと関わるような企画等が少なく、事業所内で行う活動が多くあるため。	地域のイベントに積極的に参加することや、地域を巻き込んだ活動を企画し、周知していくことが必要であると感じる。
2	定期的に避難訓練等こどもの安全確保に関する取り組みを行っているが、それらがすべての保護者に上手く周知されていない状況がある。	契約時の説明内容の不足や、行っている取り組みに対しての情報発信の内容や方法の不十分さがあるため。	事業所で行っているこどもの安全確保に関する取り組みについて、ブログ等を活用し、保護者へその内容を発信していく。また、よりこどもの安全が確保できるような取組等を検討していく。
3	職員数の余裕を持った配置が難しい。	人材の確保・育成・定着に関する取り組みに弱さがある。	人材の確保・育成・定着に関する取り組みに力を入れ、また近隣事業所とも連携し、事業所間で必要となる人員配置のやりとりをスムーズに行えるようにする必要がある。